

令和2年度 産業間マッチングの概要

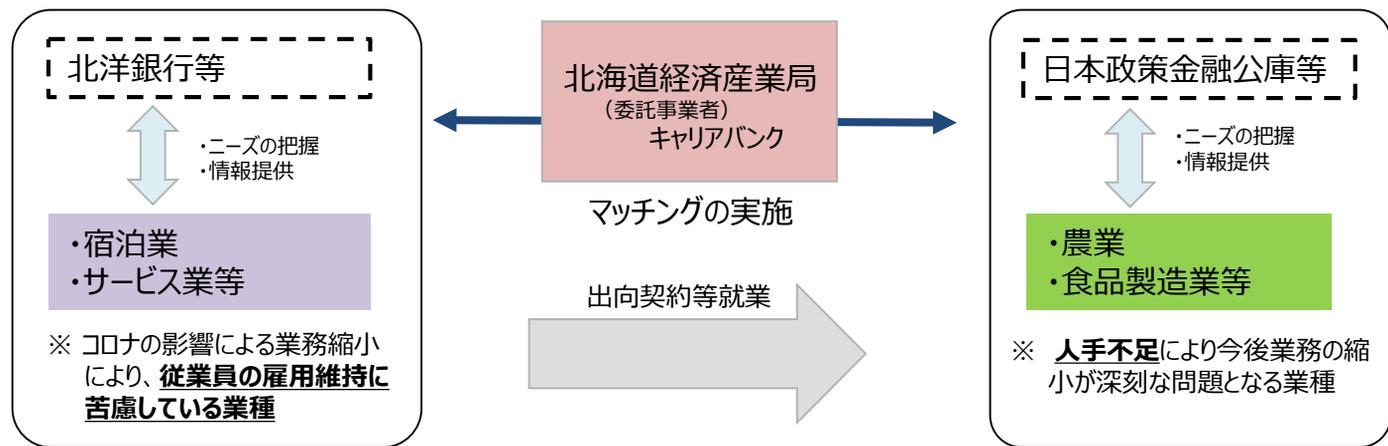
北海道経済産業局

- 企業活動は縮小しても**従業員の雇用は維持したいと考えている事業者**（宿泊業、サービス業等）と、**入国制限で外国人の雇用が見込めなくなる等、人手が不足している事業者**（農業、食品製造業等）の間でマッチング※を実施。
- **在籍出向**という雇用形態をとることによって、**送り出し企業が「従業員の雇用を維持すること」と、受け入れ企業が繁忙期等の「人手不足を解消すること」の両立**を目指す。

※ マッチング＝送り出しを希望する企業と受け入れを希望する企業双方に企業情報を紹介すること。

【事業イメージ】

- ・ 協力機関（北洋銀行、日本政策金融公庫等）が、企業からマッチングの参加申込みを受け付け。
- ・ 企業の希望する条件等から組み合わせを考え、マッチングを実施。
- ・ 企業間で連絡を取り合い、雇用条件等話し合いを行う。
- ・ 条件が整えば契約を締結し、雇用が開始。



【令和2年度実績】

登録企業数：31社（送り出し10社、受け入れ21社）

マッチング提案組：20組

マッチング成立数：3組、19名

（登録企業情報）

送り出し	受け入れ
登録企業数	
10	21
エリア	
<ul style="list-style-type: none"> ・石狩5 ・胆振1 ・渡島1 ・上川1 ・オホーツク2 	<ul style="list-style-type: none"> ・空知5 ・石狩3 ・胆振2 ・渡島1 ・上川3 ・留萌1 ・宗谷1 ・オホーツク5
業種	
<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊業4 ・サービス業4 ・運輸業1 ・製造業1 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業10(含畜産2) ・製造業9(食品) ・運輸業2

（マッチング成立情報）

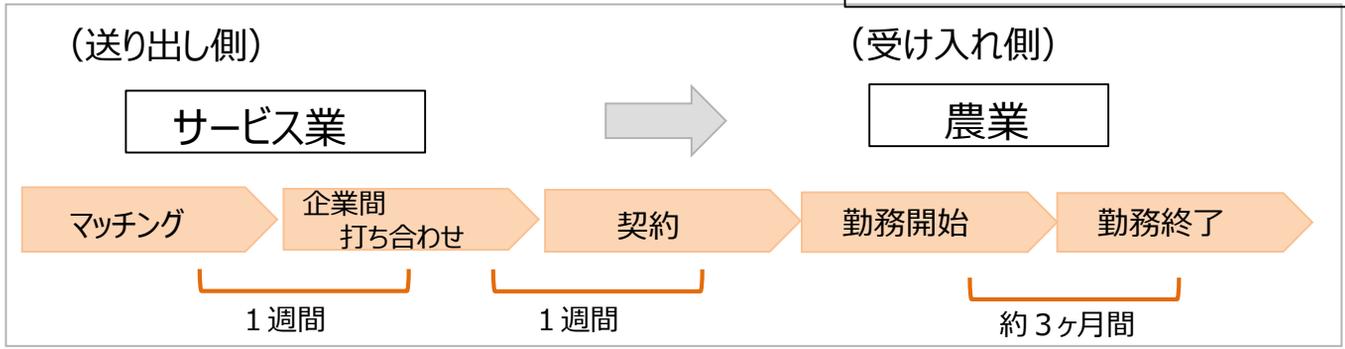
- ① サービス業（航空ハンドリング）→農業・・・3ヶ月、1名
- ② サービス業（ブライダル）→農業・・・2ヶ月、16名
- ③ サービス業（ブライダル）→農業・・・2ヶ月、2名

企業の声

- ・ 金融機関の紹介なので安心して参加することができた。
- ・ 出向に関する資料の提供があり参考になった。
- ・ 紹介された企業の勤務場所が遠く、マッチングは成立しなかった。
- ・ コロナが収束傾向にあり事業再開の期待から、人材を送り出す計画を立てる事が難しかった。

モデルケース① 〈契約期間中、同じ出向者が勤務〉

北海道経産局
<https://www.hkd.meti.go.jp/hokij/20201009/index.htm>



【契約】

- ・企業間で出向契約（在籍）を締結
- ・受け入れ企業と出向者も雇用契約を締結
- ・出向者は1名。当初は2ヶ月の出向予定だったが、1ヶ月延長

(送り出し側)

- ・所在地：石狩地域
- ・業種：サービス業（航空関係運行サービス）
- ・従業員数：1人

(受け入れ側)

- ・所在地：空知地域
- ・業種：農業（野菜）
- ・従業員数：99人

マッチングに参加する前の状況（新型コロナの影響）

主に、外国人のお客様を相手にプライベートジェットの地上業務を行う1月創業の新しい会社。新型コロナの影響による入国制限により業務は減少し今後が見通せない状況であった。

新型コロナによる影響は特にはないが、6月～8月は繁忙期で、人手が足りていない状況。毎年20人程度のパートを募集している。

マッチングから契約まで

- ・自社の担当社労士に相談し、契約する際に明確にすべき項目を確認した。
- ・送り出し側は、出向予定者と共に受け入れ側へ出向き、労働環境等を直接確認した。
- ・双方で連絡を取り合い労働条件等（給与の支払い方法、時間外労働や休日労働の扱い等）の確認をした。
- ・受け入れ側が契約書類案を作成し、送り出し側が内容を確認し契約した。

自社の勤務状況

勤務地	千歳市
勤務内容	航空関係ハンドリング
勤務時間	シフト制(1日8時間勤務)
休み	シフト制(週2日)

出向先の勤務状況

勤務地	長沼町
勤務内容	野菜収穫作業
勤務時間	8:00～17:00 (1.5時間休憩)
休み	シフト制(週3日)

賃金の負担関係

送り出し側

送り出し側は、出向期間中も従業員にこれまでと同額の給与を支払った。
受け入れ側からの賃金負担金により、給与支払いの3分の1程度を補えた。



受け入れ側

規定の時給に相当する賃金負担金を送り出し企業へ支払った。

成功に導いた企業の努力・背景

- ・経営者は、従業員に対しコロナの影響による会社の状況について丁寧に説明するなど出向についての理解を求めた。
- ・経営者は、出向者と共に事前に受け入れ企業を訪問し、労働環境等を実際に確認した。
- ・出向者は実家が農家であったため、農作業には親しみがあつた。

- ・勤務日数や休日などは、できるだけ送り出し企業の希望を取り入れた。
- ・出向者に対し、コミュニケーションや体調把握のため、積極的に声かけを行うよう心掛けた。

「在籍出向」の感想

コロナの影響により業務が減少し、従業員を自宅待機にせざるを得ませんでした。いつまでこのような状況が続くのか分からず、若くて健康な従業員を働かせることが出来ない状況が大変気がかりでした。

この取組を知って、本人に伝えた時には前向きな回答だったため、一緒に受け入れ企業に出向き、職場環境を確認しました。

事前に働く場所を見ることが出来、私も本人も安心出来ました。

出向後は、体力的には厳しいようでしたが、「体を動かすのは楽しい」と言ってくれたので安心しました。

出向契約は初めてでしたが、受け入れ側で契約書を用意してくれるなど手続き面でリードしてくれました。

(送り出し企業)

暑い日が続きましたが、熱心に働いていただきました。

業種が異なる方と仕事ができることは、当社の従業員にとって良い刺激になったと思います。

また、1ヶ月の延長を受け入れていただき大変助かりました。

今回出向契約は初めてでしたので、社労士に確認・相談しながら進めました。

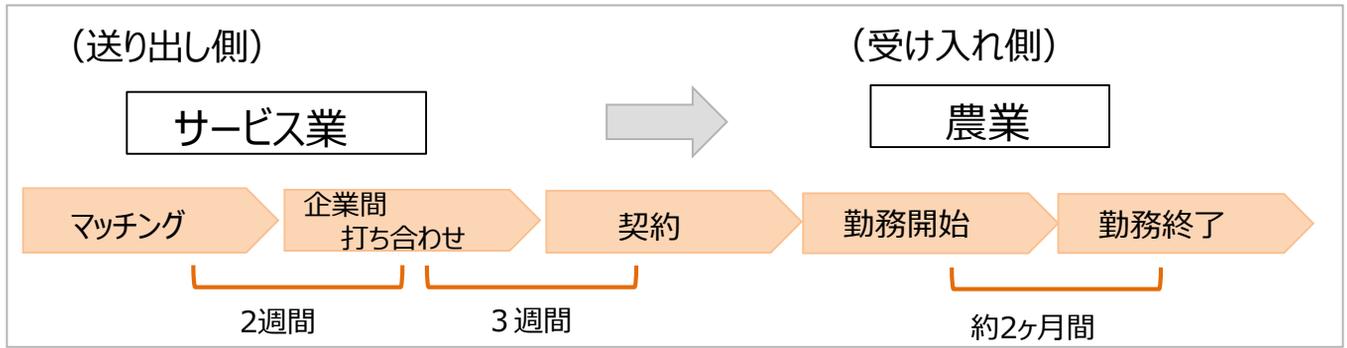
お互いの安心のためにも、社労士等への相談は必要だと感じました。

またこのような取組があれば、ぜひ利用したいと思います。

(受け入れ企業)



モデルケース② 〈シフトを組み、複数の出向者が勤務〉



【契約】

- ・企業間で出向契約（在籍）を締結
- ・受け入れ企業と出向者も雇用契約を締結
- ・送り出し企業は16名の社員でシフトを組み、その中から1日3～4名が勤務

(送り出し側)

- ・所在地：石狩地域
- ・業種：サービス業（ブライダル関係）
- ・従業員数：210人

(受け入れ側)

- ・所在地：空知地域
- ・業種：農業（野菜）
- ・従業員数：99人

マッチングに参加する前の状況（新型コロナの影響）

新型コロナによる影響により、特に4月5月に多くの挙式・婚礼等が延期となったことから、従業員を休業させることになった。

雇用調整助成金の支給はあるものの、今後のことは不明であり、人件費の対応が課題であった。

新型コロナによる影響は特にはないが、6月～8月は繁忙期で、人手が足りていない状況。

毎年20人程度パートを募集している。

マッチングから契約まで

- ・自社の担当弁護士、社労士に相談し、契約する際に明確にすべき項目を確認した。
- ・双方で連絡を取り合い労働条件等（給与の支払い方法、時間外労働や休日労働の扱い等）の確認をした。
- ・送り出し側が契約書類案を作成し、受け入れ側が内容を確認し契約した。

自社の勤務状況

勤務地	札幌市
勤務内容	ブライダル業 (プランナー、キッチンスタッフ等)
勤務時間	シフト制(季節や担当による)
休み	シフト制(季節や担当による)

出向先の勤務状況

勤務地	長沼町
勤務内容	野菜収穫作業
勤務時間	8:00～17:00 (1.5時間休憩)
休み	シフト制 (出向元の希望による)

賃金の負担関係

送り出し側

送り出し側は、出向期間中も従業員にこれまでと同額の給与を支払った。
受け入れ側からの賃金負担金により、給与支払いの7割程度を補えた。



受け入れ側

規定の時給に相当する賃金負担金を送り出し企業へ支払った。

成功に導いた企業の努力・背景

- ・従業員に対しコロナの影響による会社の状況について丁寧に説明した。
- ・出向することになった場合の自社や個人、また受け入れ側企業にとっての効果について説明した。
- ・従業員は、通常ではできない経験に対して意欲的だった。
- ・通勤は車になるため、車のある者がいない者を迎えられるようシフトを工夫した。

- ・勤務日数や休日などは、できるだけ送り出し企業の希望を取り入れた。また、シフトによる働き方を受け入れた。
- ・出向者に対し、コミュニケーションや体調の把握のため、積極的に声かけするよう心掛けた。

「在籍出向」を経験した方の声

①年代、性別、出向元の仕事 ②会社から出向の話があった時の気持ち ③出向した感想

①Eさん。20代。女性。

ブライダルプランナー

②北海道が大好きで北海道での就職を決めました。

大好きな北海道の農業のお手伝いができることはなかなかできない経験だと思い、自ら出向を希望しました。

③作業は暑くて大変でしたが、健康状態をいつも気に掛けていただきました。

普段食べている野菜が手間ひまをかけ作られていることを知りました。少しでも助けになったのであれば嬉しいです。

①Yさん。40代。男性。

料飲のセールス等

②コロナ禍における会社の状況は理解していましたので、出向に対し前向きにとらえました。

③他業種の仕事が経験出来たことは良かったと思います。暑さ等比較的過酷な状況でしたので、体調管理には苦労しました。

どのような職種でも効率や生産性、協調性などは必ず必要になってくるものだと思いますので、この経験はプラスに働いていくものだと考えています。

①Kさん。20代。女性。

ブライダルプランナー

②びっくりしましたが、今年度に入社してから入社することもほとんどなかったもので、家にいるよりも、誰かと話しながら働けることが嬉しいと思いました。

③通常であればあまり話すことがない同じ会社の違う部署の人や、社外の新しく知り合った人とも話すことができ、楽しく過ごせました。1ヶ月間出向しましたが、出向の最終日には寂しい気持ちになってしまいました。

～受け入れ企業から～

慣れない環境の中、本当によく働いていただきありがとうございました。
シフトを組んで複数名で来ていただきましたが、長く働いてくれた方は後から入ってきた方に仕事を教えてくれるなど、リーダー的役割をしていただきました。

